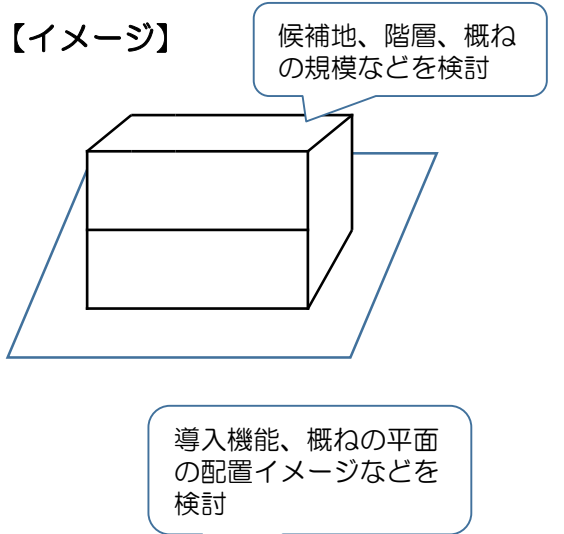


■ 「基本構想の策定」から「完成」までのプロセスイメージ

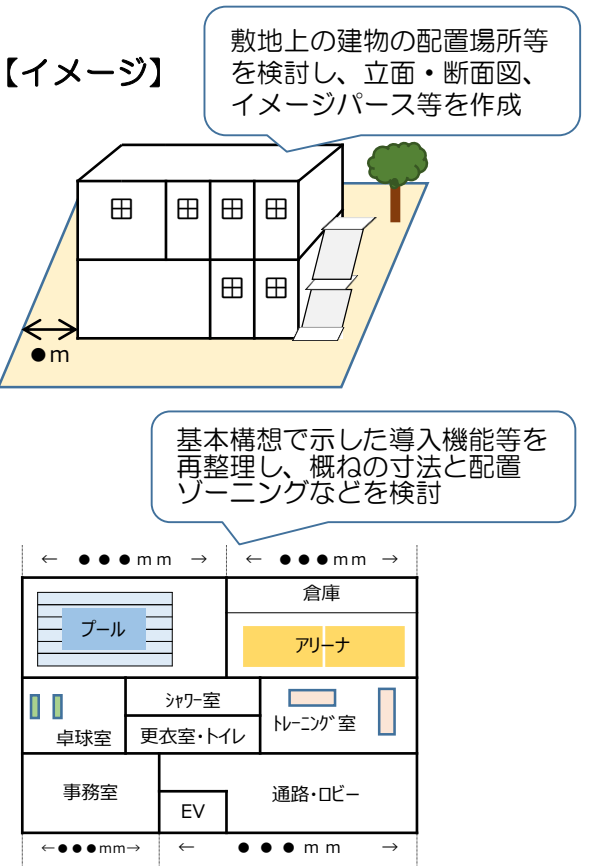
基本構想の策定 (R4)

- 施設整備のコンセプト、建設計画、事業計画等の「基本的な考え方」を取りまとめた「基本構想」を策定
- 基本構想では、整備候補地、導入機能、その概ねの規模、配置イメージなどをまとめる



基本計画の策定

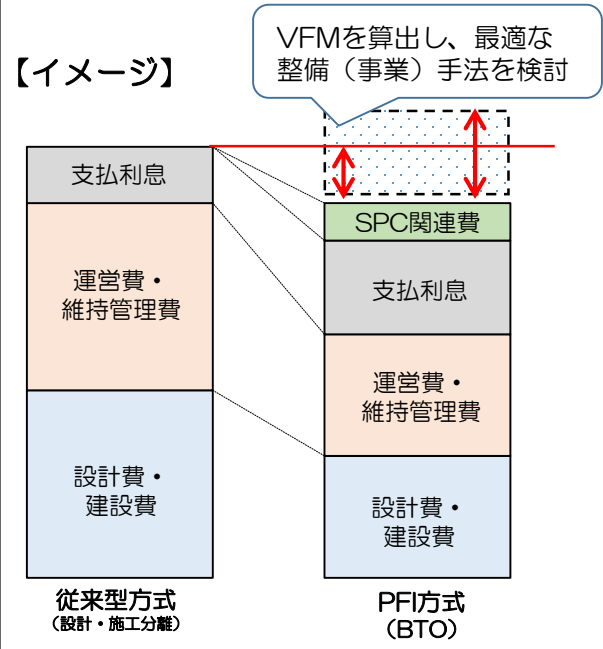
- 基本構想で示した建築計画、事業計画等の考え方に対して、肉付けをした「基本計画」を策定
- 基本計画では、設計と条件を整理し、施設イメージの概念、概算事業費などをまとめる



※ 設計と条件  
設計業務委託をする際の建築物の設計に必要な条件。

PFI導入可能性調査

- 基本計画を踏まえ、PFI事業範囲や事業スキーム、官民リスク分担等を検討し、VFM評価を実施
- 民間事業者への市場調査、VFM評価のもと、整備・運営における事業手法を決定



※ PFI (Private Finance Initiative)  
公共施設等の設計、建設、運営、維持管理を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用してサービスの向上やコストの削減を図る事業手法。

※ VFM (Value For Money)  
PFIにおける基本的な概念であり、支払いに対して最も価値の高いサービスを提供しようとする考え方。

※ BTO (Build Transfer Operate)  
PFIにおける事業方式の一つ。事業者が施設を「建設」した後、施設の所有権を公共に「移転」した上で、事業者が契約期間にわたって「管理・運営」を行う。

※ SPC (Special Purpose Company)  
事業者の出資によって設立される事業目的を特定した会社(特定目的会社)。複数の企業(コンソーシアム)が出資して、PFI事業を遂行するためのSPCを設立し、公共は、そのSPCとPFI事業契約を締結する。

整備（事業）手法を決定

基本設計

- 意匠を決定し、建築、電気設備、機械設備の基本設計を実施
- 構造や配置、レイアウト、備えるべき機能や設備、内外のデザイン等を「基本設計図書」として取りまとめる

実施設計

- 基本設計に基づき、工事施工を考慮したうえで、デザインと技術面の両面にわたって詳細な設計を行うとともに、工事費の具体的な積算を実施
- 建築、電気設備、機械設備工事の発注のため「実施設計図書」を作成
- 当該図書のもと、計画通知を申請し、建築確認後、各工事に着手

建設工事  
電気設備・機械設備工事等

完成